

OTV 杯 第 38 回 九州中学校バレーボール選抜優勝大会

沖縄県大会ガイドライン

沖縄県バレーボール協会中学部

参加者の健康と安全を最優先にするために、以下のガイドラインに基づき大会を行う。大会期間は、各会場においては感染拡大防止に努め、全ての参加者に健康チェックシートの提出を求める。

1 3密を回避するために

- (1) 大会会場(体育館内)への入館は、登録選手 12 名、監督、コーチ、マネージャー、大会関係者(引率教諭・管理職・審判員を含む)のみとし、無観客試合とする。ただし、敷地内への入場は、入館できるメンバー以外の生徒または保護者を合わせて 2 名までとし、当該チームの試合の際は、撮影を目的とした入館(2 名とも)を認める。
- (2) 開館後に行っていた 2 試合目以降のチーム練習は行わない。
- (3) 開閉会式は行わない。表彰式は全試合終了後、同会場にて行う。
- (4) ベンチは背中合わせにしないようにする。
- (5) ベンチの椅子は間隔をあけて 5 脚まで設置できる。コートチェンジの際にはチームでもって移動する。
- (6) 2 試合目以降は I F 用紙が本部に提出されてから 20 分後にプロトコールを行う。試合間を十分に確保し器具や備品の消毒を行う。また、他チームとの接触を無くす。
- (7) 試合開始、終了後の選手同士、顧問同士、審判等への握手は行わない。
- (8) 選手の待機場所は、換気の良い屋外に各チーム毎、密にならないように設置する。
- (9) 他チームとの交流や接触は極力避ける。
- (10) 入場は、消毒などの作業が終わり、IF 用紙が本部に提出されたあと審判が合図を出す。審判の合図は各チームとも 1 人で聞くようにして、他の選手は密にならないようにして待機場所で待つ。退場は、1 チームずつ退場できるように審判で合図を出す。※入退場の際の密や接触を回避する。
- (11) 体育館外(窓など)から試合を観戦することは禁止する。

2 消毒について

- (1) 会場出入り口に消毒用アルコール 1 本設置し入退場の際には手指消毒を行う。
- (2) ボールやジャッジフラッグなど不特定多数で使用する器具等は 1 試合ごとに消毒を行う。
- (3) ボールやボールかごなど会場に持ち込む用具等は、入館前に各チームで消毒を行う。
- (4) 試合終了後は利用したチームでベンチの消毒を行う。※各チームでアルコール消毒用のスプレーやペーパータオルなどを準備する。
- (5) 各チームの撮影者は、コートチェンジや試合終了後、撮影場所を離れる際は消毒を行う。

3 クライシスマネジメントとして

- (1) 各チームで感染対策責任者を任命する。※監督・コーチが兼任してもよい。
- (2) 各チームの感染対策責任者は、登録選手全員とマネージャー並びに、それ以外の生徒・保護者(2 名まで)の健康チェックシート(保護者は健康申告書)を毎日提出させ、2 週間の保管

を行う。(万が一、感染者がでた場合には提出を求められることがある。)

- (3) 各チームの監督・コーチ・引率責任者・帯同審判・大会役員は、毎日、大会本部に健康申告書を監督会までに提出する。※感染対策責任者がチームごとにまとめて提出する。
- (4) 会場への入場は、原則として健康チェックシート・健康申告書を提出した者(管理職や審判も含む)のみとする。ただし、入館の際の検温で発熱(37.5℃以上)がある場合は、入館できない。
- (5) 会場ではマスクを着用する。但し、準備運動、競技中のマスク着用は無理に強要しない。
※ベンチ・生徒役員はマスク着用。

4 入場について

- (1) 屋内・屋外に関わらず、マスク着用を協力していただく。マスク着用を協力できない者は会場(敷地内)への入場は遠慮していただく。
- (2) チーム関係者(監督・コーチ・選手を含む)は、チーム名がハッキリとわかるIDを常時身に付けること。※IDの形式は自由
- (3) 撮影したものをホームページ・ブログ・SNS・動画投稿サイト等、インターネット上にアップロードしないこと。(保護者・選手への周知を徹底する。)